



見守り支援機器「眠りスキャン」
見守り支援機器「Neos + Care」
排せつ予測デバイス「D Free」
介護看護記録システム「Blue Ocean」
によるIoT化の取組について

特養係

ケアワーカー 永戸 優香

ユニットリーダー 方田 太志

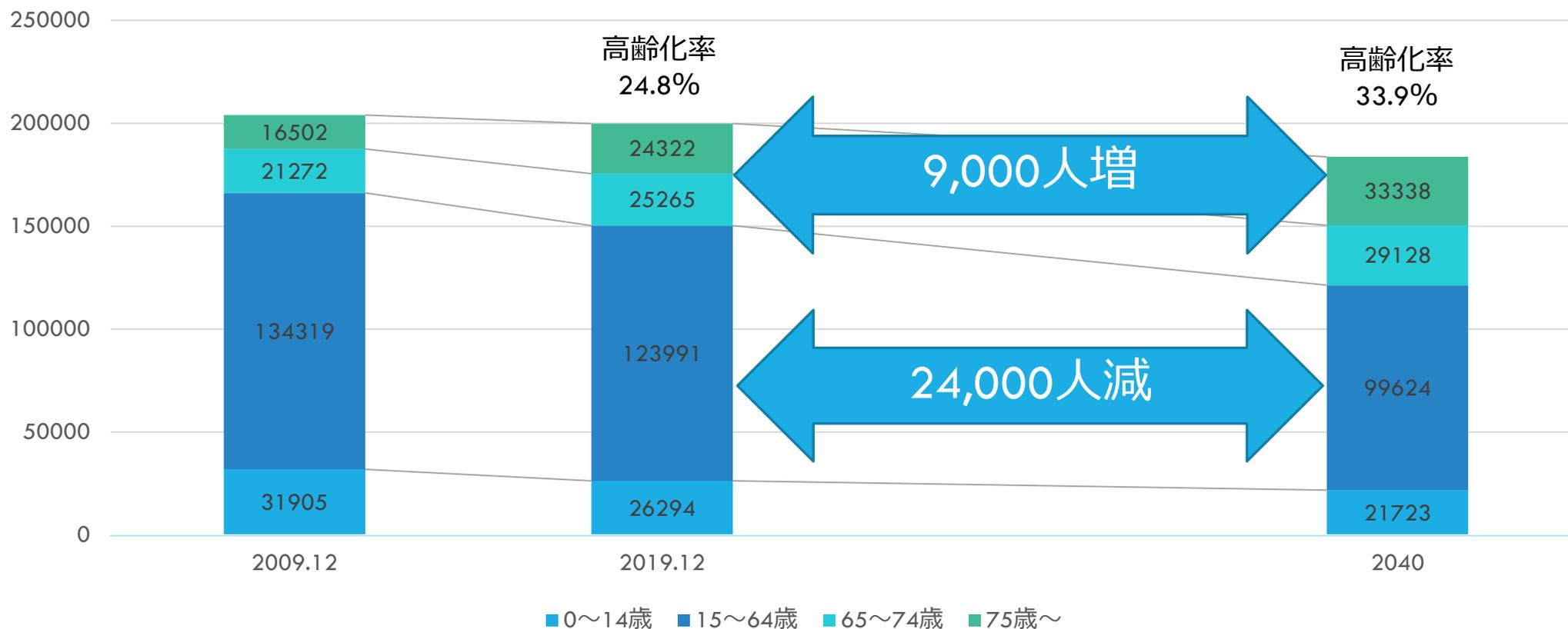
はじめに

超高齢社会の到来と生産年齢人口の減少に伴う働き手の減少が懸念されている今、人材の確保はどの業界でも困難となっている。当法人では介護機器の導入、IoT化を行うことで生産性の向上を図っています。

人口推移について

データ元：鈴鹿市ホームページ、鈴鹿市人口ビジョン（2016.3）

鈴鹿市の人口（2040年は推計）



当法人周辺の人口と高齢化について

鈴鹿市全体 総人口：199,882人 65歳以上割合：24.8% 75歳以上割合：12.2%

深井沢地区 総人口：2,017人 65歳以上割合：30.6% 75歳以上割合：15.6%

久間田地区 総人口：2,064人 65歳以上割合：33.4% 75歳以上割合：17.2%

石薬師地区 総人口：6,220人 65歳以上割合：32.1% 75歳以上割合：15.7%

加佐登地区 総人口：5,202人 65歳以上割合：25.7% 75歳以上割合：13.1%

鈴峰 地区 総人口：3,458人 65歳以上割合：31.1% 75歳以上割合：15.6%

椿 地区 総人口：1,605人 65歳以上割合：33.1% 75歳以上割合：18.1%

庄内 地区 総人口：2,114人 65歳以上割合：38.5% 75歳以上割合：19.0%

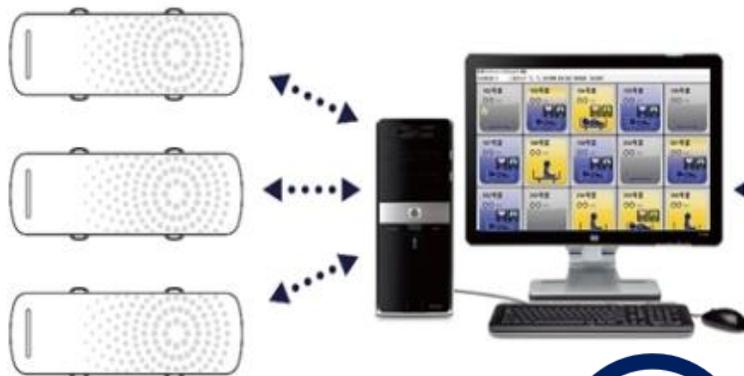
周辺7地区計総人口：22,680人 65歳以上割合：31.1% 75歳以上割合：15.7%

市全体より、約6%以上高い

市全体より、約3%以上高い

当法人で使用している介護機器の紹介

見守り支援機器「眠りスキャン」



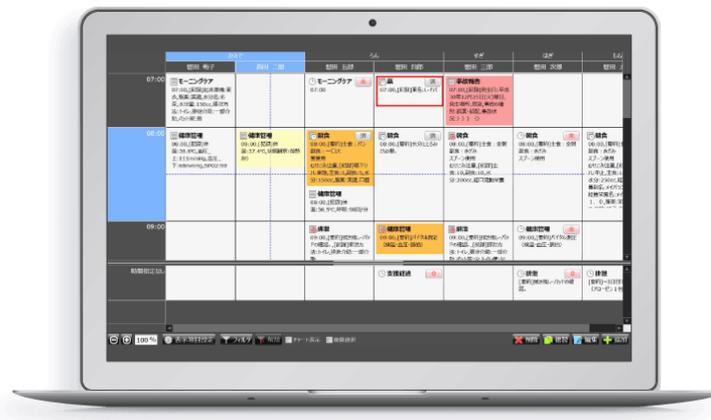
排せつ予測デバイス「D Free」



見守り支援機器Neos + Care



介護看護記録システム「Blue Ocean」

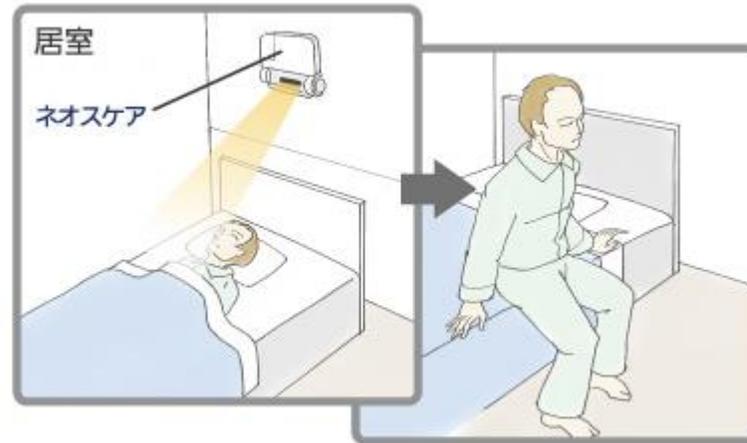


見守り支援機器 「眠りスキャン」



眠りSCANはマットレスの下に設置したセンサにより、体動（寝返り、呼吸、心拍など）を測定し、睡眠状態を把握します。予めお知らせの設定をすることで、入居者の状態変化があった場合はその情報を各端末に通知することも可能

見守り支援機器 「Neos+Care」



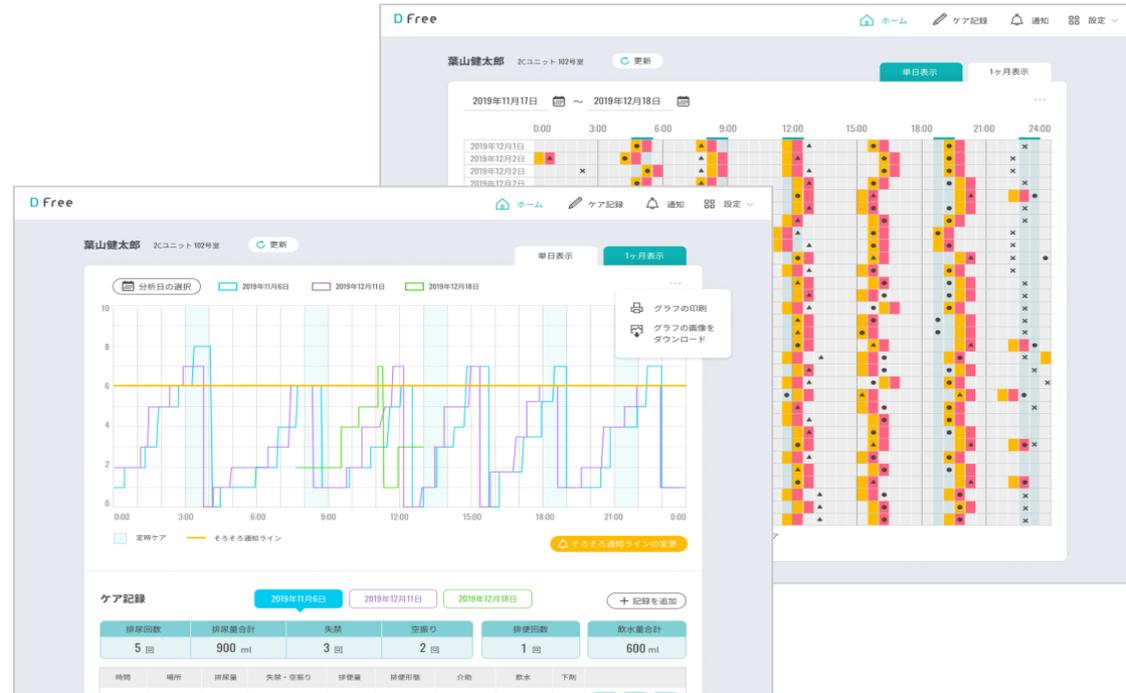
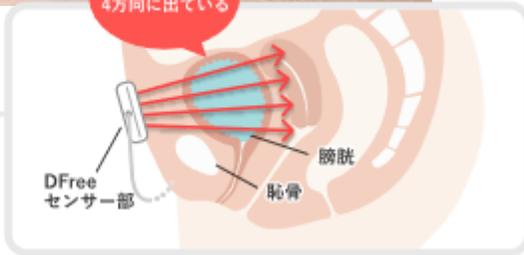
「ネオスケア」は従来の見守り機器とは異なり、最先端のロボットテクノロジーを用いた極めて精度の高い見守り機能と人間による繊細な見守りを融合することで、今までできなかった見守りを可能とする革新的なロボット介護機器です。

三重県下初導入機器 10月から運用開始

排せつ予測デバイス「D Free」

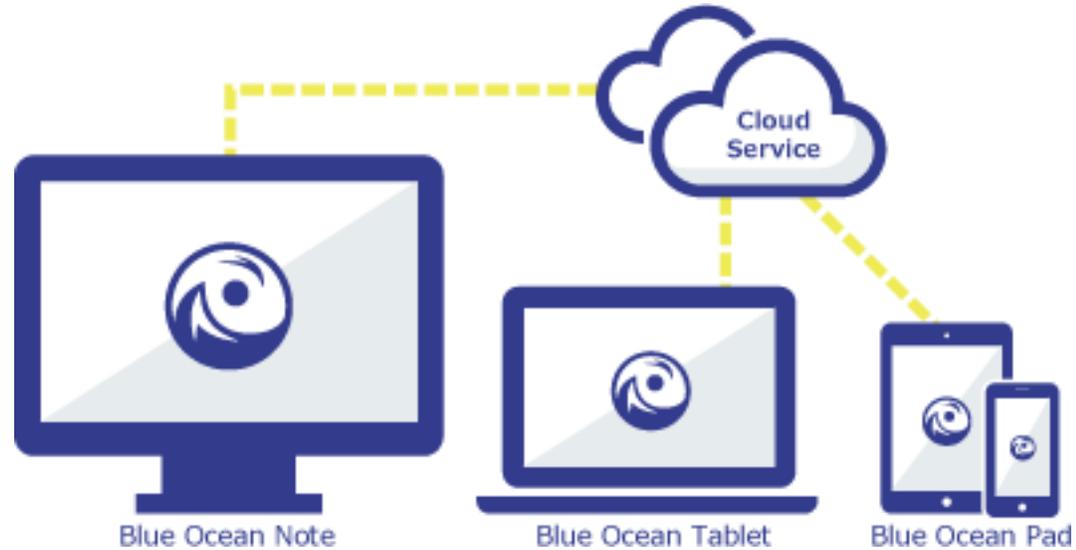
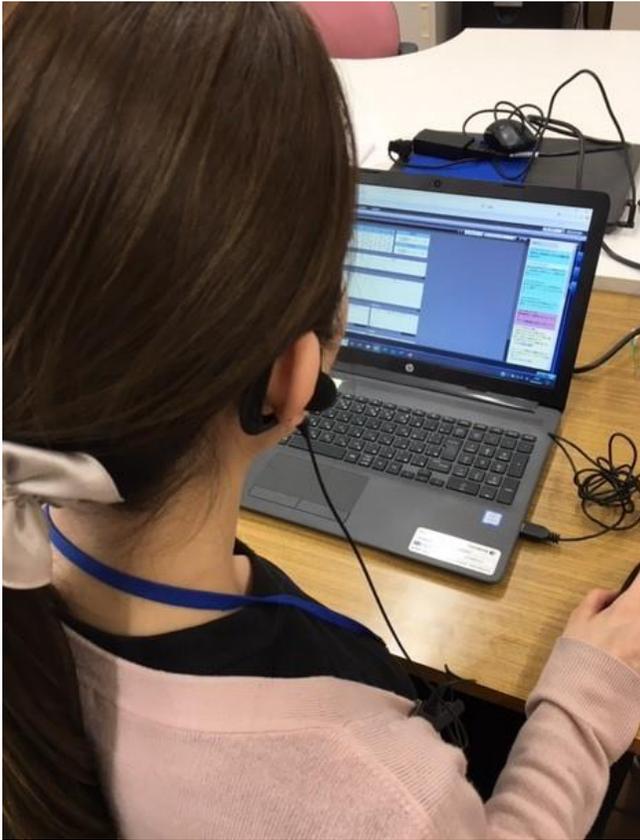


超音波が
4方向に出ている



トイレ誘導のタイミングとおむつ・パッド交換のタイミングを通知し、通知に基づき排泄介助を行うことで、自立支援や生産性の向上を実現します。

介護看護記録システム「BlueOcean」



誰にでもわかりやすいデザインで、タブレットのタッチ操作による直感的な入力や、医療・福祉業界専用の記録に特化している。豊富な入力デバイス、様々な見守りセンサーと連携している。

それぞれの介護機器

インカム



PHS



眠りスキャンモニター

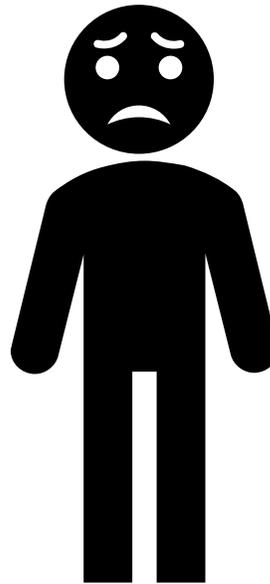


こんなにたくさん持てないよ...

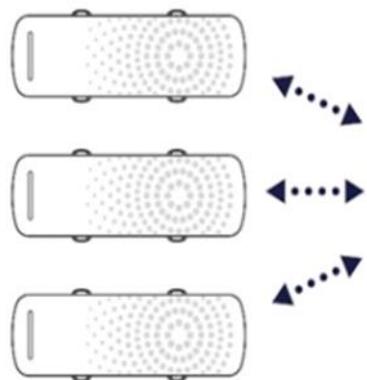
D Freeモニター



Neos+Careモニター



IoT化のイメージ



自動記録の実現

イメージ



写真：ミズノ ランニング用「スカウター」

最後に

介護機器の進化、さらにIoT化が進むことにより、記録や介助を行う時間が短縮される。介護職員の育成や人員配置等、短縮された時間を活用し高品質なサービスを届けていきます。また2040年を見据えて企業側へ改善点など意見を発信しより良い商品開発に貢献していきます。



ご視聴ありがとうございました

